

プラセンタ療法についてのご説明

プラセンタ療法とは、ヒト胎盤より様々な有効成分(細胞増殖因子・サイトカインなど)を抽出した医療用医薬品を皮下注射や筋肉注射することにより、新生細胞の合成や老化した細胞の廃棄と再生細胞を修復・再生して細胞レベルでの若返りと修復を行います。また、自然治癒力・免疫能力を高めたり、過敏になった免疫細胞を制御したり、免疫システム全体のバランスを調整・回復します。

プラセンタ注射は、疲労、肩こり、肌荒れ、シミ、しわ、更年期障害、冷え症、アレルギー疾患や生理不順などに効果があるとされています。

注射部位の疼痛・発赤や悪寒・発熱・発疹、まれにアレルギーなどの副作用が起こることがあります。

プラセンタ注射は、原料として国内のヒト胎盤が使われていますが、生体由来のため感染症のある製薬として特定生物由来製剤の指定を受けています。原料となる胎盤は HIV や B 型肝炎、C 型肝炎などの感染症がないことが確認されていますが、未知のウイルスやクロイツフェルト・ヤコブ病の病原体プリオンのように加熱殺菌により病原性を失わない病原体の存在など完全否定はできません。

このため、一度でもプラセンタ注射を使用した方は、献血ができません。

しかし、昭和49年の製品発売以来、現在まで B 型肝炎、C 型肝炎、HIV、クロイツフェルト・ヤコブ病などの感染症の報告はありません。

同意書

この度プラセンタ製剤による治療を受けるにあたり、その作用、副作用、安全性について理解し、プラセンタ注射を使用することに同意します。

同意日 西暦 年 月 日

患者氏名 _____